

日本医史学雑誌三十八巻総目次

原 著

- 神奈川のコレラ……………大滝 紀雄… 五〇四  
 江戸時代、静岡県における蘭方医学の普及、特  
 にその学統について……………津田 進三… 二五〇〇  
 北陸地域の医学史……………多留 淳文… 四九〇八三  
 京都における医史学研究史(II) ……杉立 義一… 八五〇〇四  
 備前蘭学の開祖児玉順蔵と漢蘭折衷医難波抱節  
 ……中山 沃… 一〇五〇三〇  
 『金瓶梅』にみる中国医学……………吉元 昭治… 一三〇一六三  
 衛生学者坪井次郎の経歴と業績……………泉 彪之助… 四〇一四三  
 清水耕一小伝―とくにその著『新撰看護學 附  
 精神病看護學』の位置づけ……………岡田 靖雄… 四三〇四七  
 『仁助咄』にみられる医学……………浜田 善利… 四七〇四六  
 藤林普山とその子孫、門人録……………森 納… 四一〇五八  
 明治初期医師養成教育と衛生観……………瀧澤 利行… 五三〇六三  
 島邨俊一小伝―悲運の精神病学者―岡田 靖雄… 六〇三〇六六  
 『素問』『靈樞』における脾の生理作用  
 ……遠藤 次郎・中村 輝子… 六七〇六九  
 研究ノート  
 合田求吾の『紅毛医言』について…長与 健夫… 四七〇四九

外国人研究者による日本人顔貌のタイプ

……………吉岡 郁夫… 六四〇六五

広 場

仏典とスシュルタ本集にみられる酒の評価  
 ……杉田 暉道… 六五〇六一

報 告

アンプロアズ・パレ没後四百年祭を顧みて  
 ……大村 敏郎… 一六五〇一七

追 悼

守屋正先生を悼む……………杉立 義一… 一七五〇一七  
 関根正雄先生の逝去を悼む……………古川 明… 五九〇五二

藤野恒三郎氏逝く……………長門谷洋治… 六三〇六五

資 料

福井県人の誘導した西洋文化の啓蒙書  
 ……岩治 勇一… 一三〇一三三

「因伯における牛痘接種の初め」補遺―  
 原田永寿備忘録……………森 納… 五〇一五五

池田文書の研究(七) ……池田文書研究会… 五七〇五七  
 池田文書の研究(八) ……池田文書研究会… 六七〇六九

理事長就任のご挨拶……………蒲原 宏… 三〇四

第九三回日本医史学会  
第二〇回日本歯科医史学会 合同總會演題目次

特別講演

韓国歯科医史（韓国歯科医療の開化と発展の過程）

奇 昌徳：一七〇～二〇二

会長講演

日本歯科医史学会二〇周年の歩み：谷津 三雄：二〇二～二〇八

一般口演

1 中国医学と道教（Ⅱ）韓国医書について）

吉元 昭治：二〇九～二二一

2 小野蘭山・蕙畝の日記にみる医学館の本草講書と

薬品会……………遠藤 正治：二二一～二三三

3 曲直瀬玄朔『食性能毒』における『本草綱目』の取捨

……………加藤伊都子・真柳 誠：二三三～二四五

4 中国に保存される日本伝統医学文献の孤本

……………真柳誠・関信之・肖衍初・森田傳一郎：二三五～二七七

5 幻に終わった国際連盟の漢方薬研究（第二報）

—漢方薬研究の決議が日本で引き起こした反響—

……………津谷喜一郎：二三八～三〇〇

6 抜歯後に応用される漢方薬について

……………藤井 佳朗：三〇〇～三二一

7 関根家所蔵療治十九方について

……………西巻 明彦・新藤 恵久：三二三～三三三

8 葛根湯と歯痛について

……………西巻 明彦・屋代 正幸・小林一日出：三三三～三四四

9 将軍吉宗をめぐる紀州下りの医薬人

……………宗田 一：三五〇～三六六

10 『耳囊』に記録された民間療法：浜田 善利：三七七～三八六

11 群馬県沼田市の石仏と民間信仰について

……………湯浅 高之・藤野 瑠男・屋代 正幸：三八六～三九九

12 バルベルデ人体構造解剖図説再考

……………西大條文一：三〇〇～三二一

13 関場不二彦の事蹟（一）—開業初期の病院経営—

……………吉田信・島田保久・津田晴美・松木明知：三三三～三四四

14 Anaesthesiaの命名……………中原 泉：三四四～三四六

15 華岡青洲の麻醉薬通仙散に関する実験的研究

……………松木 明知：三四六～三四七

16 一井正典とドクトル・ヴァンデンボルグ

……………渋谷 敦・松本 晋一：三六八～三九九

17 日本における芸用解剖学の受容：寺畑 喜朔：三四〇～三四二

18 熱中症予防薬と食塩……………三浦 豊彦：三四三～三四四

19 わが国における義歯の発達 概要：本山佐太郎：三四四～三四五

20 伊勢松阪の入口・入歯師

……………新藤 恵久・長谷川 弥：三四六～三四七

21 オープンループ並びにダブルループクラスプに

就いて……………平田 幹男：三四七～三四八

22 東京勸業博覧会の歯科出品物（第二報）歯磨および

- 35 歯ブラシについて……大橋 正敬・西山 實……四〇〇
- 34 「杉山三部書」の研究(その二)——成立について——  
……長岡靖彦・中島史・北村智・長尾栄一……三〇〇
- 33 「杉山三部書」の研究(その二)——経穴と補瀉——  
……中島史・北村智・長岡靖彦・長尾栄一……三〇〇
- 27 『素問研』について……宮川 浩也……三〇〇
- 26 鍼灸経穴名考証の試み——穴名同語の典故と用法——  
……岩井 佑泉……三〇〇
- 25 古典にみる砭鍼の臨床的意義について  
……坂本 秀治・市川 太郎……三〇〇
- 24 東京歯科医学専門学校臨床歯科学叢書の書誌学  
……春日 芳彦・森山 徳長……三〇〇
- 23 明治大正期歯科保存学書の比較書誌学的研究  
……長谷川正康・森山 徳長……三〇〇
- 22 幻の東京歯科大学(市川短期大学)の構想  
……戸沢行夫・森山徳長・石川達也・長谷川正康……三〇〇
- 21 大日本私立衛生會雑誌の齒科的記載  
……落合 俊輔・谷津 三雄……三〇〇
- 20 第三高等学校医学部教授・坂田快太郎の留学  
通信……小田 皓二……三〇〇
- 19 帝国女子医専創設者額田豊・晋兄弟の医家系譜  
……中山 沃……三〇〇
- 18 練堀町時代の佐藤尚中……大滝 紀雄……三〇〇
- 17 竹原地区の先覚者たち——頼春風などについて——
- 36 江川 義雄……三七〇
- 37 月舟寿桂(幻雲)の医界における交友関係  
……小曾戸 洋・森田傳一郎・水沢 利忠……三七〇
- 38 幾何学、リベラルアーツと博物学  
……柴田 幸雄……三七〇
- 39 府立大阪医科大学は大阪帝国大学医学部へ  
齒科学弓倉繁家教授、薬化学世良好太教授  
……中室 嘉祐……三七〇
- 40 明治期御雇外国人医学教師関係法について(第二報)  
……高安 伸子……三七〇
- 41 「自然良能」及び「医ハ自然ノ臣僕ナリ」  
思想の回歸……津下 健哉……三七〇
- 42 日本における「変蒸」の変遷について  
……広田 暉子……三七〇
- 43 『頓医抄』卷第二十、口腔疾患に関する考察  
……戸出 一郎……三七〇
- 44 『医心方』と病草紙……杉立 義一……三七〇
- 45 『口齒類要』質疑……杉本 茂春……三七〇
- 46 『欽』(義未詳)の解釈……杉本 茂春……三七〇
- 47 囉囉拏說救療小兒疾病経の紹介……大高 興……三七〇
- 48 『紅夷外科宗伝』図版成立へのスクールテタス(Sculetus)の外科書  
Armentarium chirurgicum の影響  
……蒲原 宏……三七〇
- 49 十八世紀オランダの医療界の構造と蘭学

49 ..... 石田 純郎：三〇三〜三〇三  
 ピエール・フォシャル著『齒科外科医』手稿中  
 のフォシャル直筆と推定される部分  
 ..... 高山 直秀：三〇四〜三〇五  
 准看制度の歴史 ..... 長門谷洋治：三〇六〜三〇八  
 50 米国長老教会婦人宣教師ミス・リードの日本に  
 おける活動 ..... 平尾真智子：三〇八〜三〇  
 52 外科の守護聖人サン・コームとリュザルシュ村  
 の教会 ..... 大村 敏郎：三一〜三二  
 53 近代中国における宣教師女医の活動について  
 ..... 三崎 裕子：三三〜三四  
 54 陸軍看病人の教育について ..... 黒澤 嘉幸：三四〜三五  
 55 ウィルヒョウと精神科医たち ..... 梶田 昭：三六〜三七  
 56 断種法問題―その広がりを見取図―  
 ..... 岡田 靖雄：三八〜三九  
 57 精神外科の隆盛と衰微 ..... 藤倉 一郎：三〇〜三一  
 58 《中国口腔医学史考》簡介 ..... 周 大成：三二  
 59 山本忠孝―北京における魯迅の主治医―  
 ..... 泉 彪之助：三三〜三三  
 60 医術開業試験と済生学舎 ..... 唐沢 信安：三四〜三六  
 61 野口英世の医術開業試験 ..... 石原 理年：三六〜三六  
 62 最初期齒科X線診断学の文献的研究(その二)  
 機器、フィルム、露出時間等について  
 ..... 塩津二郎・森山徳長：三六〜三九

第三号正誤表

63	旧制・新制東京歯科大学の校地・校舎の変遷に ついて ..... 山岸東太郎・石川達也：三〇〜三一		
64	終戦前後の日本医学会 ..... 渋谷敏・谷津三雄：三三〜三三 前線診療指針について ..... 石橋肇・谷津三雄：三四〜三五		
66	函館医学学校生徒記録 ..... 石崎 達：三六〜三七		
67	明治期におけるブライト氏病の受容について ..... 会田 恵：三七〜三九		
68	Hirschberg 来日に会いし医師達 ..... 奥沢 康正・ユルゲン・コバチ：三九〜四〇		
ページ・行	誤	正	備考
一(目次)	ノート	研究ノート	
二(目次)	(脱落)	(酒井シツ)	表紙絵選定者
三三三	dean medical school	初字大文字化	固有名詞
三三三	tuberculosis	tuberculosis	
8	medical school	初字大文字化	固有名詞
三三	はならやかった	はやらなかつた	
三三	椿冕	椿冕	
三三	根をあげる	音をあげる	
三三	prefectural	初字大文字化	固有名詞
三三	mental hospital	同右	同右
三三	Dentistry	Dentistry	
三三	ハイッデッカー	ヴァイツゼッカー	
三三	Memories	Memoirs	
裏表紙			